

第2次 富山市総合計画

2017-2026

概要版

富山市

■ ごあいさつ

1	■ 第2次富山市総合計画の構成について	3
2	■ 基本理念	4
3	■ 都市像	4
4	■ まちづくりの目標	5
5	■ 総合計画前期基本計画の体系	6
6	■ リーディングプロジェクト	7
7	■ まちづくりの目標実現のための政策	10

■ 資料

□	施策の体系	24
□	総合計画事業概要一覧	26
□	目標とする指標一覧	34

ごあいさつ



富山市は、日本海側のほぼ中央に位置し、水深1,000mの「海の幸の宝庫」富山湾から標高3,000m級の北アルプス立山連峰まで、標高差約4,000mの多様な地勢と雄大な自然を誇るとともに、「葉都富山」として全国にその名が知られており、また、製薬業をはじめとする様々な産業基盤と高度な都市機能、そして、多様な文化と歴史を併せ持つ日本海側有数の中核都市であります。

本市では、人口減少と少子・超高齢社会の進行や過度な自動車依存による公共交通の衰退、市街地の低密度化などの課題に対応し、将来にわたって持続可能な都市を構築していくため、これまでの10余年、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を政策の基本に据え、様々な施策を推進してきました。

こうした取組により、本市は、国の「環境モデル都市」や「環境未来都市」をはじめ、国際連合の「エネルギー効率改善都市」やロックフェラー財団の「100のレジリエント・シティ」に選定されるなど、国内はもとより、世界の多くの都市が抱える課題の解決に向けた一つのモデルとなる都市として、高い評価を頂くとともに、大きな期待を寄せられております。また、本市では現在、都心地区や公共交通沿線地区を中心に、人口の社会増が続いているところであり、さらに近年、市内の全用途の平均地価に上昇がみられるなど、コンパクトなまちづくり政策の効果がいくつも現れ始めているところです。

このような状況の中、今回策定いたしました第2次富山市総合計画は、これまでの本市のまちづくりの基本的な考え方を踏襲するとともに、時代の変化や社会の要請などに的確に対応しながら、地域の特性や魅力を高め、人口減少に対して果敢にチャレンジすることで、将来にわたって成長力を確保できる総合力の高いまちづくりを進めるための基礎となるものであり、市では、この総合計画の内容を具現化できるよう企業や市民の皆様との協働によるまちづくりを今後一層進めてまいります。

終わりに、第2次富山市総合計画の策定にあたりまして、市民ワークショップや市民説明会、パブリックコメントなどを通して参画をいただいた多くの市民の皆様、並びに約1年3か月にわたり熱心にご審議を賜りました富山市総合計画審議会委員の皆様に対しまして、心から感謝を申し上げます。

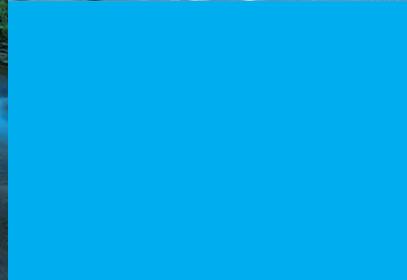
平成29年3月
富山市長 森 雅志



さあ、このまちのミライをひらこう。



AMAZING TOYAMA





1 第2次富山市総合計画の構成について

①基本構想

本市の特性や魅力、広域的な位置付けなどを整理し、長期的な展望のもとに将来の都市像やまちづくりの目標とその実現に向けた施策の大綱を示すものです。

②基本計画

基本構想で示した基本理念等を受け、施策の体系化を行い、現況と課題を整理するとともに、目標とする指標、施策の方向を示すものです。

③実施計画

基本計画で定める施策体系に基づき、具体的な事業の年次計画等を示すものです。基本計画をローリング方式により毎年見直ししながら、実効性の確保に努めるとともに、諸情勢の変化に的確に対応した計画を策定するものです。



2 基本理念

安らぎ・誇り・希望・躍動

をまちづくりの基本理念とします。

本計画では、合併後10年の成果をさらに発展させていくため、前計画の基本理念「共生・交流・創造」を底流として、人・まち・自然の共生から「安らぎ」を広げ、広域的で多様な交流から「誇り」を育み、新しい活力と魅力の創造から「希望」を未来につなげ、これらの相乗効果を生かして、これまで以上に富山市が「躍動」することを基本理念とします。

3 都市像

本市が目指す都市像を次のとおり定めます。

人・まち・自然が調和する 活力都市とやま

前総合計画では、行政と市民が協働してのまちづくりを進め、「人・まち・自然が調和する活力都市とやま」の実現を目指してきました。本計画においても、この10年間の取組を踏まえ、まちの総合力をさらに高め、前計画での都市像を継承し、引き続き、賑やかな都市部と自然豊かな山間部など、それぞれが持つ個性を大切に、産業や文化活動などにおける企業や市民の活動が活発で、躍動している都市を目指します。

4 まちづくりの目標

都市像を実現するため、4つのまちづくりの目標を設定します。

人材・暮らし

I すべての人が輝き安心して暮らせるまち

子どもたちへの教育の充実を図るとともに、すべての世代が学び、活躍し輝くことができるまちづくりを進めます。また、安心して子どもを産み育てることができ、いつまでも元気で自立し安心して暮らすことができるまちづくりを進めます。

都市・環境

II 安心・安全で持続性のある魅力的なまち

都市としての持続性を高めるため、人にも自然にもやさしく、強靱で回復力のある安心で安全なまちづくりを進めます。また、地域の個性や自然環境、拠点性を生かした、コンパクトで潤いと安らぎのある魅力的なまちづくりを進めます。

活力・交流

III 人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち

新たな価値を創出する産業づくりなど産業の活力を強化し、あらゆる人が集い、いきいきと働ける希望に満ちたまちづくりを進めます。また、観光・交流のまちづくりを進めるとともに、「富山らしさ」を再確認し、歴史・文化・芸術のまちづくりを進めます。

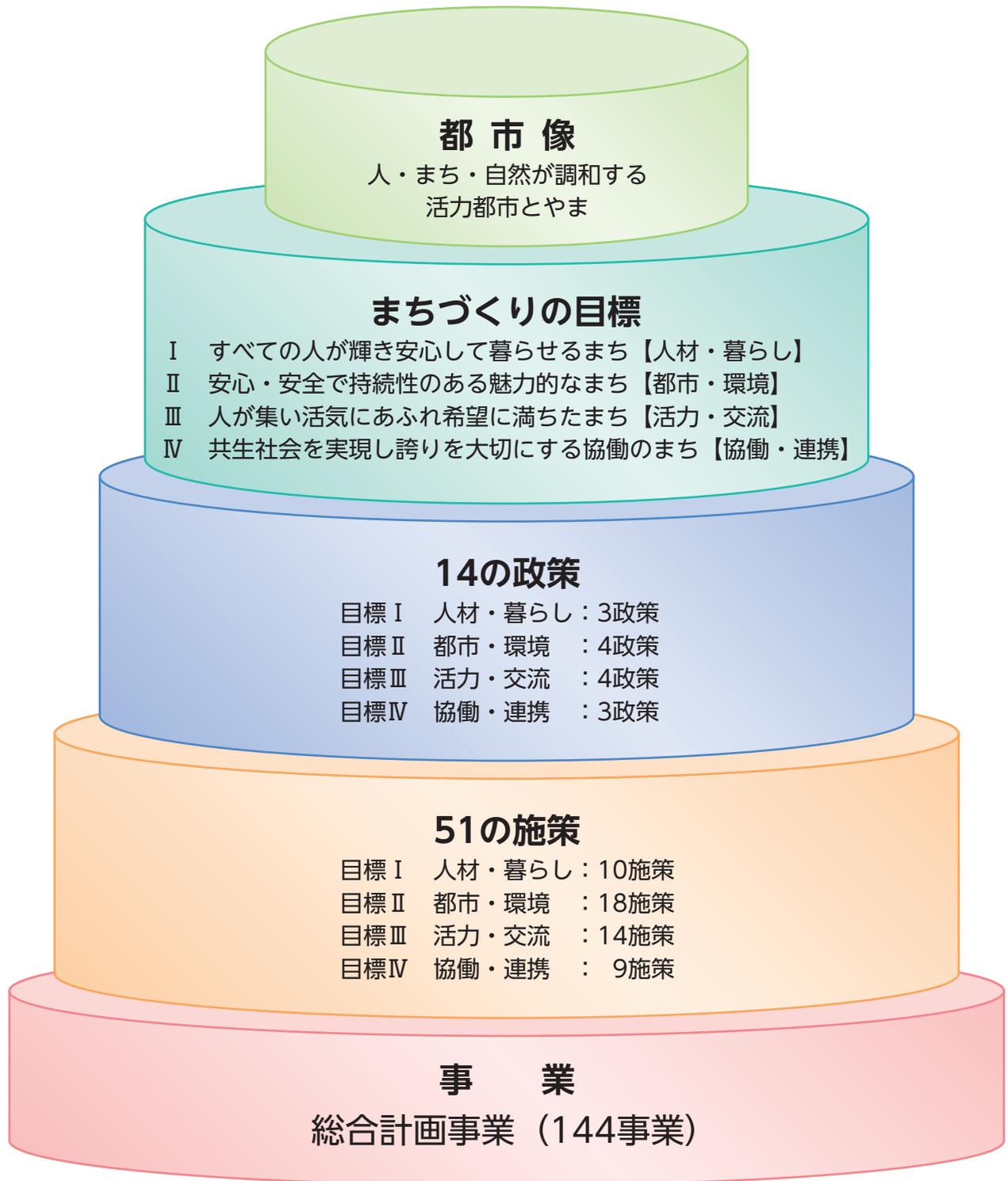
協働・連携

IV 共生社会を実現し誇りを大切にする協働のまち

市民協働による共生社会づくりを進めるとともに、地域コミュニティを強化し、安らぎのあるまちづくりを進めます。また、「わがまち富山」に対して愛着や誇りを抱くシビックプライドの醸成に努めます。環境の変化に柔軟に対応し、持続性のあるしなやかな行政体づくりを進めます。

5 総合計画前期基本計画の体系

目指す都市像を実現するため、4つのまちづくりの目標を設定し、その下に体系的に政策、施策及び事業を位置付けて目標を明確にした行政を進めます。



6 リーディングプロジェクト



ヒト・財源など経営資源の制約 選択と集中

リーディングプロジェクト

1. 人口規模の維持・拡大
～出生率の改善と大都市圏への人口流出を食い止める「人口のダム機能」の強化～
2. 災害に強く回復力のあるまちづくり
～都市レジリエンスの推進～
3. 持続可能な都市構造への転換
～都市のサステナビリティの向上～

部局横断的な取組として、組織の壁を越え、連携し効果的な展開を目指す

リーディングプロジェクト一覧

リーディングプロジェクト	重点テーマ	主な取組
1 人口規模の維持・拡大 ～出生率の改善と大都市圏への人口流出を食い止める「人口のダム機能」の強化～	①出産・子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、児童館、子育て支援センターなどの整備 ・児童健全育成事業の充実（放課後児童健全育成事業など） ・すこやか子育て支援事業（乳幼児健康相談、各種セミナーの開催など） ・まちなか総合ケアセンターでの「産後ケア応援室」の運営、お迎え型体調不良児保育事業の実施
	②子どもの教育環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設（校舎、屋内運動場など）の改築、大規模改造、耐震補強 ・統合校の新設
	③若者等がいきいきと働き暮らすための雇用の創出・産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT、IoT、ビッグデータ、AI（人工知能）などを活用した次世代型産業の育成支援 ・先端技術企業や研究開発型企業等の誘致 ・製造業の設備投資への支援の充実 ・企業団地の拡張、民間の遊休地等の利活用の検討 ・農業の省力化、経営基盤の強化による「攻めの農業」の展開支援 ・薬用植物振興対策事業 ・農産物の6次産業化や海外輸出への支援 ・若年者就職支援事業（就職セミナー、合同企業説明会の開催支援、就職マッチング支援など） ・製菓企業研修施設整備の検討
	④女性の活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、児童館、子育て支援センターなどの整備＜再掲＞ ・児童健全育成事業の充実＜再掲＞ ・ひとり親家庭への支援（ひとり親家庭学習支援事業、ひとり親家庭奨学資金給付事業、ひとり親雇用奨励事業、ひとり親家庭病児保育利用料助成事業など） ・お迎え型体調不良児保育事業などの特別保育の充実
	⑤元気な高齢者の活動機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターへの支援 ・老人クラブ活動への支援 ・高齢者人材バンク創設の検討 ・高齢者雇用奨励金制度創設の検討
2 災害に強く回復力のあるまちづくり ～都市レジリエンスの推進～	①防災拠点及び避難施設の耐震化	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設（校舎、屋内運動場など）の改築、大規模改造、耐震補強＜再掲＞ ・市立公民館の改築 ・常備消防拠点施設の改築 ・スポーツ施設の長寿命化
	②必要な社会インフラの更新・長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁の保全対策 ・配水管の更新 ・浸水対策事業 ・下水道管の更新 ・斎場の環境整備

リーディングプロジェクト	重点テーマ	主な取組
	③災害対応能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線整備 ・ライフライン共通プラットフォーム構築事業 ・救急救命士の養成 ・自主防災組織の育成
3 持続可能な都市構造への転換 ～都市のサステナビリティの向上～	①公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・都市マスタープランの改訂 ・まちなか居住推進事業 ・公共交通沿線居住推進事業 ・LRTネットワークの形成 (路面電車南北接続事業、富山港線軌道複線化など) ・生活交通の確保(生活バス路線の維持、自主運行バス支援、コミュニティバス運行など) ・鉄軌道及び幹線バス活性化事業
	②環境に配慮した循環型社会づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・LRTネットワークの形成<再掲> ・生活交通の確保<再掲> ・再生可能エネルギーの導入促進 ・エコライフ・エコ企業活動の推進 (チームとやまし推進事業など)
	③健康寿命の延伸	<ul style="list-style-type: none"> ・おでかけ定期券事業 ・生活交通の確保<再掲> ・地域包括ケア体制の推進 ・パワーリハビリテーション事業 ・まちなか総合ケアセンターの運営 ・健康づくり推進事業(プラス1,000歩運動など)
	④中心市街地の賑わい再生	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか再生推進事業(桜町一丁目4番地区、総曲輪三丁目地区市街地再開発事業) ・新規出店サポート事業 ・おでかけ定期券事業<再掲>
	⑤公共施設マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画に基づくアクションプランの策定 ・公共施設オープンリノベーションの推進

7 まちづくりの目標実現のための政策

まちづくりの目標Ⅰ すべての人が輝き安心して暮らせるまち【人材・暮らし】

政策1 すべての世代が学び活躍できるひとづくり

家庭・地域・学校の連携のもとに、自ら学ぶ力を育成できる環境の整備を図るとともに、地域に根ざし、国際化、産業の高度化等に対応する人材の育成と、創業・起業支援等の地域活性化に向けた地（知）の拠点として高等教育の振興を図ります。また、生きがいと活力のある地域づくりのため、生涯学習の充実を図ります。

〈施策〉 (1) 学校教育の充実 (2) 高等教育の振興 (3) 家庭・地域における教育力の向上
(4) 生涯学習の充実

目標とする指標【抜粋】

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
健康な児童・生徒の割合	すこやか検診における要医療・経過観察の判定を受けていない児童生徒の割合	子どもたちの健康管理を推進し、要医療・経過観察の判定を受けていない児童生徒の割合93%を目指す。	88.2% (28年度)	93%
子どもかがやき教室実施箇所数	子どもかがやき教室の実施箇所総数	市ホームページでの事業の案内などにより、概ね年1箇所の実施地区増を目指す。	45箇所 (27年度)	50箇所
博物館等の観覧者数	市立博物館等17施設の入館者数	展示内容等の充実を図り、毎年1.3%程度の観覧者数の増加を目指す。	745,464人 (26年度)	800,000人

総合計画事業【抜粋】

事業名	事業概要	5か年（H29～33）の取組
八尾地域統合中学校整備事業	八尾中学校と杉原中学校を統合し、新たな統合中学校を整備します。	中学校1校
大規模改造事業	安全で快適な教育環境を創出するため、小・中学校校舎の耐震性能向上や施設整備を行います。	小学校5校、中学校1校
耐震補強事業	老朽化した小・中学校校舎について、地震対策のため、耐震性能を向上させます。	小学校6校、中学校4校
外国語指導助手配置事業	英語コミュニケーション能力の向上を図るため、外国語指導助手（ALT）を配置します。	外国語指導助手（ALT）の増員（33名）
小児生活習慣病予防対策事業	児童生徒の健康の保持・増進を図るため、小児生活習慣病予防対策検診等を実施します。	すこやか検診の実施 (小学校4年生、中学校1年生) すこやか教室の開催 (小学校2回、中学校2回)
市立公民館の整備・充実	市民の生涯学習や地域活動の拠点となる公民館の整備を行います。	7館整備

政策2 いつまでも元気で暮らせる健康づくり

すべての世代がスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を整備します。また、身近な地域で心身の健康保持・増進を図る健康づくり活動の充実を図り、高齢者の介護予防につなげることにより、健康寿命を延ばします。

〈施策〉 (1) スポーツ・レクリエーション活動の振興 (2) 健康づくり活動の充実
(3) 介護予防・高齢者の元気づくり

目標とする指標【抜粋】

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
成人のスポーツ実施率	成人における週1回以上のスポーツ実施者数の割合	ライフステージごとの具体的な事業を展開し、成人の週1回以上のスポーツ実施率が50%以上になることを目指す。	29.7% (28年度)	50%
健康な高齢者の割合	65歳以上の高齢者で、介護保険の要介護・要支援認定を受けていない人の割合	多様な介護予防事業の展開により、高齢者人口が増える中にも健康な高齢者数の割合の維持を目指す。	前期高齢者 (65～74歳) 95.9% 後期高齢者 (75歳以上) 65.6% (27年度)	前期高齢者 96%以上維持 後期高齢者 66%以上維持

総合計画事業【抜粋】

事業名	事業概要	5か年（H29～33）の取組
競技力向上事業 スポーツクラブ強化推進事業	ジュニア選手の競技力向上を図るとともに、プロスポーツチームを支援します。	ジュニア特別強化事業2競技追加（11競技） プロスポーツチーム支援 東京オリンピック事前合宿の受入 優秀選手活動強化支援金の交付
介護予防いきいき運動推進事業	介護予防運動指導者の養成等、地域における介護予防運動の普及を図ります。	介護予防運動指導者の養成 「楽楽いきいき運動」の普及啓発



NIXSスポーツアカデミー（スケートゾーン）



とやま「歩く人。」イベント（ブランドプラザ）

政策3 誰もが自立し安心して暮らせるまちづくり

安心して子どもを産み育てられる環境づくり、高齢者・障害者が安心して暮らし続けられる環境づくりなど、地域の誰もが自立し安らかに暮らせるまちづくりのために、地域における保健・医療・福祉の連携による包括的な支援体制の整備を図ります。

- 〈施策〉 (1) 出産・子育て環境の充実 (2) 高齢者・障害者への支援
(3) 保健・医療・福祉の連携、充実

目標とする指標【抜粋】

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
子育て支援センターの利用者数	子育て支援センターを利用する延べ人数	利用者の利便性向上を図るため未設置区域への設置により、利用者増を目指す。	135,793人 (27年度)	137,634人
要支援・要介護認定者に占める地域密着型サービス利用者の割合	要支援・要介護認定を受けた方（介護サービス利用者）に占める地域密着型サービス利用者の割合	将来の要支援・要介護認定者数の推計を基に、高齢者の多くが希望する在宅での生活を支えるため、地域密着型サービス拠点の整備により利用割合の増加を目指す。	7.8% (27年度)	15.6%

総合計画事業【抜粋】

事業名	事業概要	5か年（H29～33）の取組
多機能保育所の整備	定員の維持・拡大や保育所機能を拡充し、子育て世帯を支援します。	市立保育所5箇所整備
ひとり親家庭奨学資金給付事業	ひとり親家庭の子どもについて、奨学資金を給付することで、高校卒業後の修学や就業を促進します。	奨学資金の給付10名／年
すこやか子育て支援事業	赤ちゃん教室の開催等により、安心して妊娠、出産、子育てができる環境を整備します。	パパママセミナー 仲間づくりの赤ちゃん教室 など
認知症高齢者見守り支援事業 認知症総合支援事業	認知症についての正しい知識の普及啓発や、地域での見守りネットワークの構築など市全体で認知症の人を支える仕組みづくりを進めます。	見守りネットワーク強化 徘徊SOSネットワークの整備 認知症地域支援・ケア向上事業 など
障害者就労支援促進事業	(仮称)就労移行コーディネータを設置し、採用を希望する企業と福祉施設との連携を強化することにより、障害者の一般就労化を後押しします。	コーディネータによる施設巡回 など
在宅医療・介護連携推進事業	在宅療養に関わる関係機関と連携し、在宅における医療と介護の一体的な提供体制を構築します。	医療・介護連携相談支援 地域住民への普及啓発 かかりつけ医サポート 医療介護連携推進会議の実施 など
市民病院手術部門等整備事業	老朽化が著しい手術部門等において改修工事を実施します。	手術部門の増改築
市民病院医療情報システム等整備事業	現行の電子カルテシステム等について、国の標準仕様に準拠したパッケージシステムを導入し、医療機関相互間の連携の強化を図ります。	パッケージ型新電子カルテシステム等の運用

まちづくりの目標Ⅱ 安心・安全で持続性のある魅力的なまち【都市・環境】

政策1 人にやさしい安心・安全なまちづくり

自然災害への備えや迅速な対応のほか、社会資本ストックの老朽化対策、消防・救急体制の整備、防犯・交通安全対策、空き家対策等、日常生活における安心・安全で強靱なまちづくりを進めます。また、衛生環境や食の安全等、安心で安全な生活環境づくりを進めます。

- 〈施策〉 (1) 災害に強く回復力のある安全なまちづくり (2) 雪に強いまちづくり
 (3) 消防・救急体制の整備 (4) 防犯・交通安全対策の充実
 (5) 快適な生活環境づくり

目標とする指標【抜粋】

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
住宅の耐震化率	住宅総数（非木造・共同住宅等含む。）のうち、新耐震基準で建築されたものと耐震化工事を行ったものを合わせた割合	富山市耐震改修促進計画に基づき、住宅の耐震化率85%を目指す。	79.4% (27年度)	85%
自主防災組織の組織率	全世帯に占める自主防災組織加入世帯の割合	実績等に基づき、より一層防災意識の啓発に努め、概ね7割の組織率を目指す。	56.7% (27年度)	70%

総合計画事業【抜粋】

事業名	事業概要	5か年（H29～33）の取組
公共下水道（雨水）の整備による浸水対策	松川雨水貯留施設整備や下水道管の増径等を行い、浸水被害の軽減や公共用水域の水質保全を推進します。	雨水幹線等の整備 2,760m 合流式下水道の改善 6,630m
ライフライン共通プラットフォーム構築事業	自治体やライフライン事業者が持つ通行規制などの情報を共有することで、災害発生時の復旧作業の迅速化などを実現します。	共通プラットフォームデータの一部オープンデータ化 共同工事実証実験 など
橋りょう維持補修事業（橋りょう保全対策事業）	橋梁の計画的な点検を行い、状態の把握に努めるとともに、その役割や機能を踏まえた管理水準の適正化を図るなど、メリハリのある維持管理や更新に取り組みます。	補修及び更新工事【八田橋ほか】 定期点検及び診断【440橋/年（重要橋梁40橋・小規模橋梁400橋）】など
レジリエンス戦略推進事業	レジリエンスの考え方を広く周知・啓発するとともに、市民や企業、団体等との連携を深め、レジリエンス戦略を着実に推進し、強しなやかなまちづくりの実現を目指します。	レジリエンス戦略のフォローアップ レジリエンスの推進及び周知・啓発事業の実施 など
救急救命士の養成	救急現場で高度な救命処置活動を行う救急救命士を養成します。	救急救命士3人の増（累計80人）
斎場の環境整備	民間の資本や技能を活用するPFI手法による市内の斎場の施設整備や運営を検討します。	PFI手法による施設整備等のあり方の検討

政策2 コンパクトなまちづくり

公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりのため、都心と地域生活拠点の整備、交通体系の整備を図り、公共交通軸を活用して、歩いて暮らせるまちづくりやまちなか居住を推進します。

- 〈施策〉 (1) 賑わいと交流の都市空間の整備・充実 (2) 歩いて暮らせるまちづくりの推進
 (3) まちなか居住の推進 (4) 地域の生活拠点の整備
 (5) 交通体系の整備

目標とする指標【抜粋】

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
富山駅周辺地区の歩行者数	富山市、富山商工会議所により実施される歩行者通行量調査における歩行者数	27年度基準数値は、新幹線開業に伴う富山駅利用者増という特殊事情があることから、開業前の26年度基準数値を踏まえ、歩行者数の維持・向上を目指す。	平日42,037人 日曜37,173人 (27年度) 平日38,924人 日曜30,420人 (26年度)	平日40,000人 日曜32,000人
路面電車1日平均乗車人数	市内電車と富山ライトレールの1日当たり平均乗車人数	富山市中心市街地活性化基本計画に掲げる目標数値の達成を目指す。	19,193人/日 (27年度)	20,000人/日

総合計画事業【抜粋】

事業名	事業概要	5か年（H29～33）の取組
花でつなぐフラワーリング事業	まちなかを季節ごとの花で彩ることで、まちなかの回遊性の促進や賑わいの創出を図ります。	292箇所設置
コンパクトなまちづくり推進事業	住民基本台帳データ等を活用した人口動態把握や各種指標調査を行い、事業の進捗状況や効果等を把握し、コンパクトなまちづくりの推進を図ります。	コンパクトなまちづくりに伴う都市的指標調査 コンパクトシティ政策国内外発信・連携



セントラムとハンギングバスケット



グランドプラザ

政策3 潤いと安らぎのあるまちづくり

身近に豊かな自然を感じるゆとりある暮らしのため、それぞれの地域の個性を生かした環境整備、水と緑の保全・活用を進めるほか、潤いのある都市生活基盤等の整備とともに、暮らしの安全を守り安らぎを与える森づくりや中山間地域の振興に努めます。

- 〈施策〉 (1) 個性を生かした地域環境の整備 (2) 水と緑が映えるまちづくり
 (3) 潤いのある都市生活基盤の整備 (4) 暮らしの安全を守り安らぎを与える森づくり
 (5) 中山間地域の振興

目標とする指標【抜粋】

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
伝統的家屋、一般建築物等の修景事業の件数	八尾地区景観まちづくり推進区域において実施された修景工事の件数	事業全体を通して、補助対象区域内の家屋等のうち10%程度の修景工事の実施を目指す。	67件 (28年度)	12件 (累計79件)
森林ボランティア団体数	とやま森づくりサポートセンターへの登録数	市民・企業によるボランティア団体の増加を目指す。	56団体 (27年度)	66団体

総合計画事業【抜粋】

事業名	事業概要	5か年（H29～33）の取組
屋外広告物適正化事業	違法な屋外広告物の早期是正を推進し、都市景観の保全・形成を図ります。	違法広告物の簡易除却作業 屋外広告物改善・撤去補助
公園施設長寿命化事業	老朽化した公園などの遊具、施設等の保全管理を行います。	市内各所公園やファミリーパーク内施設の遊具、施設等の保全管理
森林環境保全整備事業	人工林の間伐・下刈等の個人負担を軽減し、森林整備の促進を図ります。	森林整備面積60ha/年



松川公園（松川桜並木）



森林ボランティア

政策4 自然にやさしいまちづくり

自然にやさしいまちづくりのため、コンパクトなまちづくりや環境教育への取組などによる環境負荷の低減とともに、循環型まちづくりの基盤整備、エネルギーの有効活用を推進します。

〈施策〉 (1) 循環型まちづくりの基盤整備 (2) エネルギーの有効活用
(3) 市民・企業・行政の協働による環境負荷低減への取組

目標とする指標【抜粋】

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
産業廃棄物減量化・循環利用率	産業廃棄物発生量に占める中間処理等により減量化された量の割合	廃棄物の循環的利用、適正処理を推進し、富山県の「とやま廃棄物プラン」で定める数値を目指す。	95.9% (26年度)	97%
一般廃棄物の再生利用率	ごみの総排出量に占める再生利用が可能な資源物の割合	可燃ごみ・不燃ごみに含まれる資源物の分別を徹底し、割合の増加を目指す。	24% (27年度)	25%
チームとやましメンバー数	地球温暖化防止活動に取り組む人数	各種啓発事業によりメンバー数の増を目指す。	21,545人 (28年度)	22,045人

総合計画事業【抜粋】

事業名	事業概要	5か年（H29～33）の取組
ごみ減量化・資源化推進事業	資源物の拠点回収や分別収集の実施等により、循環型社会の形成を目指します。	資源物ステーション運営事業 古布リユース・リサイクル事業 小型家電リサイクル事業 生ごみリサイクル事業
住宅用省エネ設備等導入補助事業	住宅や事業所等の省エネルギー化を推進することで、温室効果ガスの削減を図ります。	設備等導入補助の実施
水素ステーション整備補助事業	温室効果ガスの排出量削減を図るため、燃料電池車用の水素ステーションの導入を支援します。	導入補助事業の実施
チームとやまし推進事業	市民・事業者・行政等が連携する市民総参加型プロジェクト「チームとやまし」事業を推進します。	地球温暖化防止活動にかかる啓発事業の実施 緑のカーテン事業 など



エコタウン産業団地



チームとやましフォーラム

まちづくりの目標Ⅲ 人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】

政策1 新たな価値を創出する産業づくり

広域的な競争環境の中で、ものづくり・しくみづくりを強化し、企業の誘致・拠点化支援を進めるとともに、新たな価値を創出する産業づくり、新産業・新事業の創出、強い農林水産業の振興を図ります。また、これらの展開のため、活力を創出する人材育成を行います。

- 〈施策〉 (1) ものづくり・しくみづくりの強化 (2) 企業の誘致・拠点化支援
 (3) 新産業・新事業の創出 (4) 強い農林水産業の振興
 (5) 活力を創出する人材育成

目標とする指標【抜粋】

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
製造品出荷額等	工業統計における従業者4人以上の事業所の年間製造品出荷額等	産業の振興を図り、年平均2.2%程度の増を目指す。	11,662億円 (26年)	▶ 13,488億円
農業サポーター登録者数	とやま楽農学園の受講者のうち、農業者のサポーターとして従事を希望する者の延べ人数	人材育成の結果として活躍できる農業サポーターの人数800人を目指す。	621人 (27年度)	▶ 800人

総合計画事業【抜粋】

事業名	事業概要	5か年（H29～33）の取組
企業団地造成事業	雇用機会の創出や地域経済の活性化を図るため、新たな企業団地を造成し、企業誘致に積極的に取り組みます。	新たな企業団地の造成
薬用植物振興対策事業	医薬品または健康食品の原料となる作物の栽培を支援し、薬用植物の生産拡大を図ります。	新規作付け・継続作付けに対する支援 農業用機械の導入支援
鳥獣対策事業	イノシシ等の捕獲に対する報奨金制度や新規狩猟免許取得者への支援等により、有害鳥獣対策の強化を図り、農作物被害の低減に努めます。	鳥獣被害対策実施隊の運営 イノシシ等捕獲報奨金 など



呉羽南部企業団地（富山西インターチェンジ周辺）



とやま楽農学園（花き講座）

政策2 観光・交流のまちづくり

北陸新幹線が開業し、広域的な交流基盤が整備される中で、富山の魅力を十分に引き出す「富山ブランド」を確立するとともに、国内外を問わず、広域的な観光集客や交流人口を拡大し、観光産業の活性化を図るため、観光資源の創出・発信と受入体制の整備を行います。

〈施策〉 (1) 広域・滞在型観光の推進 (2) 観光資源の創出・発信と受入体制の整備
(3) 多様な交流の促進

目標とする指標【抜粋】

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
観光サポーター研修受講者数	観光サポーター研修の累計受講者数（延べ人数）	基準数値（5年間累計）の10%増を目指す。	474人 (23～27年)	520人 (29～33年)

総合計画事業【抜粋】

事業名	事業概要	5か年（H29～33）の取組
富山やくぜん普及推進事業	健康に良いとされる食材を使用した「富山やくぜん」を魅力ある観光資源として確立し、観光客の誘致を図ります。	「富山やくぜん」研修会の開催 「富山やくぜん」PR冊子の作成 SNS等を利用したPR
商品力向上支援事業	富山ならではのお土産品の開発等を行う事業者を支援し、魅力あるブランドの創出を図ります。	商品力向上セミナーの開催 新商品開発支援 商品PR・販売戦略支援 販路拡大支援



外国人観光客のツアー



おわら風の盆

政策3 いきいきと働けるまちづくり

新たな価値を創出する産業づくりや観光・交流のまちづくりを進めるため、多様な雇用機会の創出や勤労者福祉の向上など、いきいきと働ける雇用環境の整備を行います。また、若年層の地域雇用を促進するとともに、大都市圏居住者の二地域居住・移住の支援を行います。

〈施策〉 (1) 多様な雇用機会の創出 (2) 勤労者福祉の向上
(3) 二地域居住・移住の支援

目標とする指標【抜粋】

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
県内大学卒業生の県内就職率	県内の大学を卒業し、県内企業等に就職した者の割合	県等と連携を図りながら、50%以上を目指す。	44% (26年度)	50%
事業所内保育施設の市内設置件数	富山市内に設置されている事業所内保育施設の数	補助制度の活用等により、累計25件の設置を目指す。	19件 (27年度)	25件

総合計画事業【抜粋】

事業名	事業概要	5か年（H29～33）の取組
若年者就職支援事業	企業説明会の開催やホームページによる情報提供などにより、本市での就職促進を図ります。	学生と市内企業との面談の場の提供 企業情報ホームページによる市内企業の情報発信
マルチハビテーション推進事業	広域交流の推進と地域経済の活性化を図るため、まちなかに住宅を取得する県外居住者を支援します。	マルチハビテーション推進補助10件の増



企業説明会



JOB活とやま

政策4 歴史・文化・芸術のまちづくり

富山の文化的アイデンティティ(富山らしさ)を再確認し、次の世代に伝える魅力ある文化を創造するため、伝統的文化・文化遺産の保全・活用のほか、質の高い芸術文化の発信、市民の芸術文化活動への支援を行います。

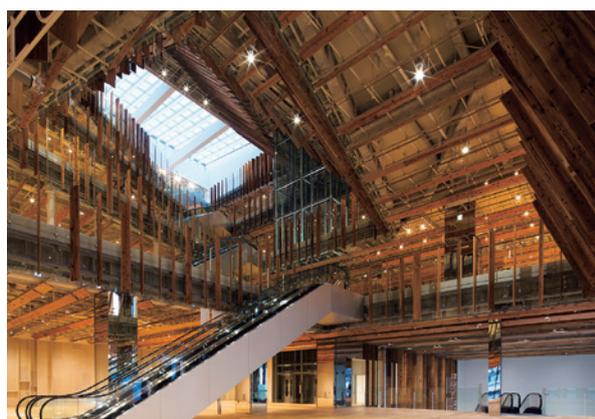
〈施策〉 (1) 伝統的文化・文化遺産の保全・活用 (2) 質の高い芸術文化の発信
(3) 市民の芸術文化活動への支援

目標とする指標【抜粋】

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
富山ガラス工房入館者数	富山ガラス工房の入館者数	体験メニューの充実、ガラス美術館との連携等により、27年度から1%程度の増加を目指す。	108,300人 (27年度)	110,000人

総合計画事業【抜粋】

事業名	事業概要	5か年(H29~33)の取組
ガラスの街づくり事業	企画展示等の実施により、市民がガラス芸術を身近に感じ誇りに思えるよう努めます。	ガラス美術館運営(作品収集保存、調査研究、展覧会開催、教育普及、国際公募展開催等) 富山ガラス工房の運営
富山市美術展の開催	美術展の開催により、市民の創作活動の発表や鑑賞の場を提供します。	30年度より、富山市美術展に旧神通峡美術展で開催されていたインスタレーション部門を追加(3年毎)して開催



TOYAMAキラリ



桐朋アカデミー・オーケストラのコンサート

まちづくりの目標Ⅳ 共生社会を実現し誇りを大切にす協働のまち【協働・連携】

政策1 市民協働による共生社会づくり

市民協働による共生社会づくりのため、市民主体のまちづくりや一人ひとりが尊重される地域社会づくりを進めます。また、市民協働の推進とともに地域を担う人材の育成や世代間交流等を進め、コミュニティの強化を図ります。

- 〔施策〕 (1) 市民主体のまちづくり (2) 一人ひとりが尊重される地域社会づくり
(3) 地域を担う人材の育成 (4) コミュニティの強化

目標とする指標【抜粋】

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
公募提案型協働事業応募団体数	公募提案型協働事業の応募団体数	これまでの応募団体数の推移に基づき、各年度8団体の応募を目指す。	7.6団体 (24～28年度の平均)	8団体
附属機関における女性委員登用率	法律または条例に基づき設置される附属機関の構成員のうち女性の占める割合	第2次富山市男女共同参画プランに基づき、市政に参画する女性の増加を目指す。	26.7% (28年度)	30%

総合計画事業【抜粋】

事業名	事業概要	5か年 (H29～33) の取組
タウンミーティング開催事業	市の施策などを説明し、意見交換をする機会の充実に努めます。	タウンミーティングの開催
男女共同参画社会推進事業	男女が互いにその人権を尊重し、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指します。	第2次富山市男女共同参画プランの推進



タウンミーティング



世代間交流活動

政策2 市民の誇りづくり

「訪れたいまち」「暮らしたいまち」「住み続けたいまち」として市内外の多くの方々から選ばれるため、地域・自治体としてのブランディングに取り組み、シティプロモーションを推進します。また、ふるさと教育の推進などにより、市民一人ひとりが「わがまち富山」に対して愛着や誇りを抱くシビックプライドの醸成を図ります。

- 〈施策〉 (1) 地域・自治体としてのブランディングとシティプロモーション
(2) シビックプライドの醸成

目標とする指標【抜粋】

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
富山市発信情報の閲覧・投稿者数	シティプロモーション推進事業で、本市の魅力を発信する映像等のホームページやSNSでの閲覧・投稿件数	対前年度比5%増を目指す。	218,453件 (28年度)	278,806件

総合計画事業【抜粋】

事業名	事業概要	5か年（H29～33）の取組
選ばれるまちづくり事業（シティプロモーション）	市の魅力について戦略的かつ効果的に情報発信を行うことで、市内外の多くの方から「暮らしたいまち、訪れたいまち」として「選ばれるまち」となることを目指します。	シティプロモーション全国広告事業 富山イメージアップ事業の推進



世界銀行都市パートナーシップ・プログラム覚書調印



アメイジングトヤマ写真部

政策3 しなやかな行政体づくり

厳しくなることが想定される財政状況を踏まえ、これまで以上に計画的で効率的な行財政運営の推進を図ります。そのため、職員の意識改革と組織の活性化を進めるとともに、地方分権・広域連携行政への対応を図ります。

- 〈施策〉 (1) 計画的で効率的な行財政運営の推進 (2) 職員の意識改革と組織の活性化
(3) 地方分権・広域連携行政への対応

総合計画事業【抜粋】

事業名	事業概要	5か年（H29～33）の取組
公共施設マネジメント推進事業	長期的かつ一元的な視点で、施設の長寿命化や統廃合を検討するなど、公共施設等の効率的かつ効果的な管理に取り組みます。	第1次公共施設マネジメントアクションプランの策定



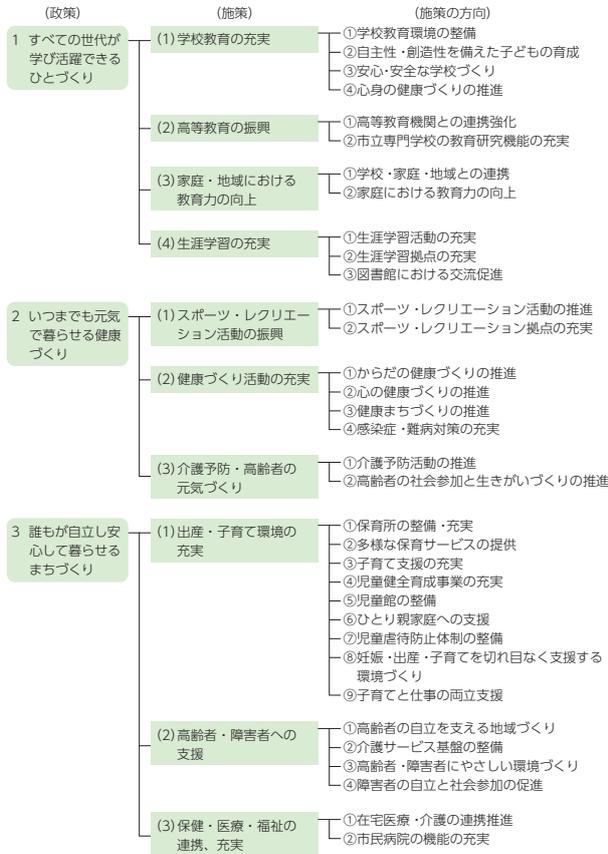
まちづくり政策提案研修発表会



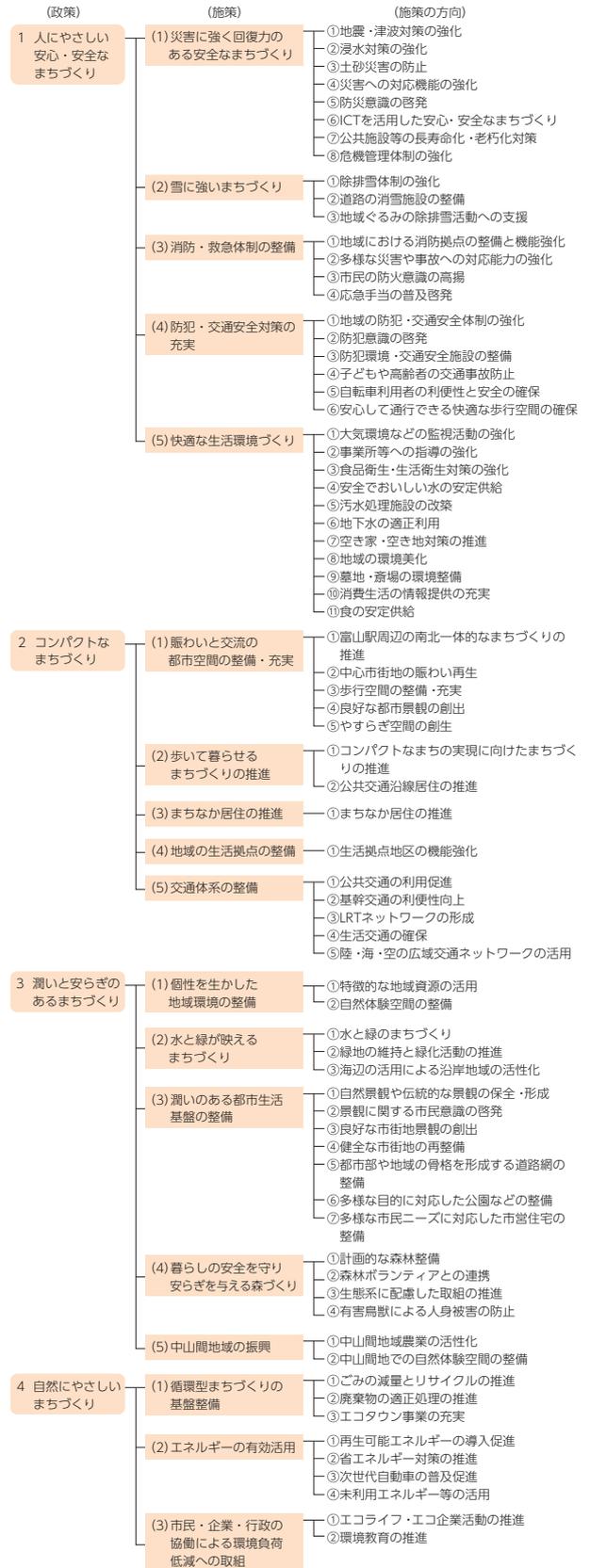
岐阜市との都市間交流事業

資料編 施策の体系

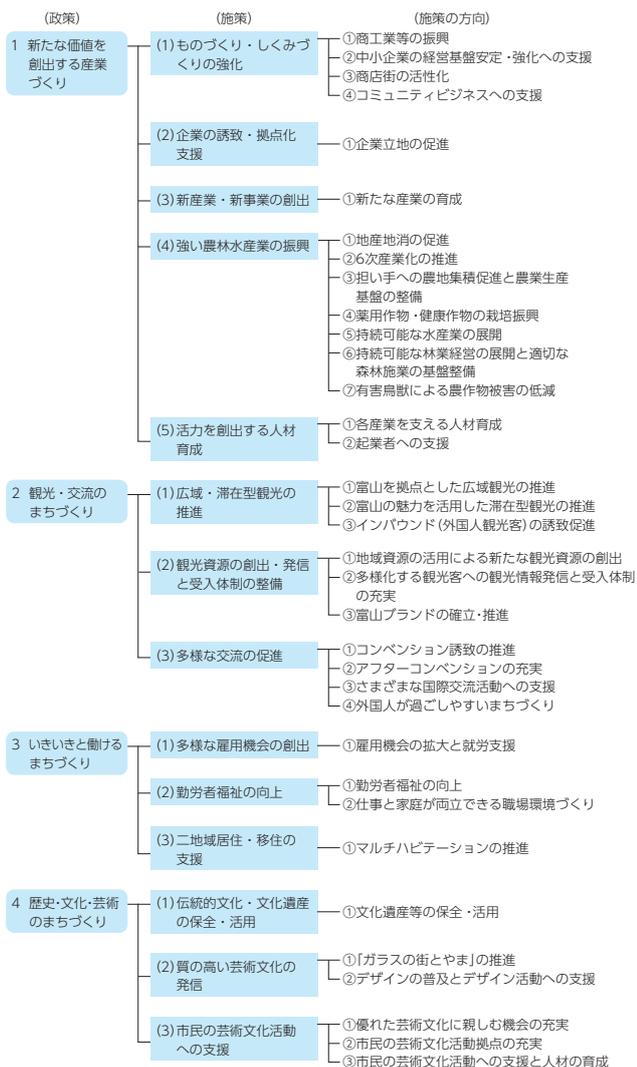
I すべての人が輝き安心して暮らせるまち（人材・暮らし）



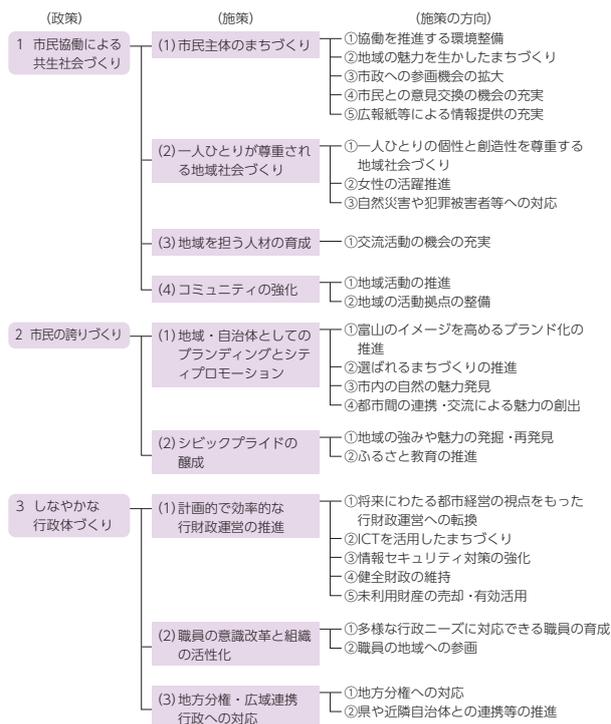
II 安心・安全で持続性のある魅力的なまち（都市・環境）



Ⅲ 人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち（活力・交流）



Ⅳ 共生社会を実現し誇りを大切にする協働のまち（協働・連携）



資料編 総合計画事業概要一覧

まちづくりの目標Ⅰ すべての人が輝き安心して暮らせるまち【人材・暮らし】

事業名	平成28年度末現況	事業の概要（29～33年度）
政策1 全ての世代が学び活躍できるひとづくり		
八尾地域統合中学校整備事業	—	中学校1校
校舎改築事業	小学校8校、中学校2校（24～28年度）	小学校2校、中学校1校
大規模改造事業	小学校8校、中学校2校（24～28年度）	小学校5校、中学校1校
耐震補強事業	—	小学校6校、中学校4校
屋内運動場建設事業	小学校2校、中学校1校（24～28年度）	中学校2校
学校プール建設事業	小学校9校（24～28年度）	小学校6校
外国語指導助手配置事業	外国語指導助手（ALT）20名配置	外国語指導助手（ALT）の増員（33名）
スクールソーシャルワーカー配置事業	9名のスクールソーシャルワーカーを25校に派遣（小学校14校、中学校11校）	スクールソーシャルワーカーの増員（11名）
スクールサポーター配置事業	65名のスクールサポーターを73校に派遣（小学校54校、中学校19校）	スクールサポーターの増員（70名）
小児生活習慣病予防対策事業	すこやか検診の実施 （小学校4年生、中学校1年生） すこやか教室の開催 （小学校2回、中学校2回）	事業の継続実施
市立公民館の整備・充実	4館整備（24～28年度）	7館整備
政策2 いつまでも元気で暮らせる健康づくり		
競技力向上事業 スポーツクラブ強化推進事業	ジュニアの強化とプロスポーツチーム支援	ジュニア特別強化事業2競技追加（11競技） プロスポーツチーム支援 東京オリンピック事前合宿の受入 優秀選手活動強化支援金の交付
体育施設整備事業	ストリートスポーツパーク建設 北部プール移設 婦中体育館耐震改修工事	スポーツ施設耐震改修 スポーツ施設長寿命化対策基本計画策定
健康づくり推進事業	「富山市健康プラン21」の推進 地域健康づくり展の開催 まちぐるみ禁煙支援事業の実施 プラス1,000歩富山市民運動の実施 健康づくり市民意識調査 健康まちづくり推進事業 （健康まちづくりマイスター活動支援） とやま「歩く人。」リーダー育成事業の実施	事業の継続実施
おでかけ定期券事業 （再掲Ⅱ-2-(1)）	<利用者数> 101.1万人（27年度）	事業の継続実施
介護予防いきいき運動推進事業	介護予防運動指導者の養成 「楽楽いきいき運動」の普及啓発	事業の継続実施
パワーリハビリテーション事業	パワーリハビリテーション教室の実施	事業の継続実施
政策3 誰もが自立し安心して暮らせるまちづくり		
多機能保育所の整備	市立保育所2箇所整備（24～28年度）	市立保育所5箇所整備
特別保育の充実	延長保育 73箇所 一時預かり（一時保育） 57箇所 休日保育 28箇所 年末・年始保育 46箇所 病児保育（病児・病後児対応型） 4箇所 病児保育（体調不良児対応型） 36箇所	延長保育 2箇所（累計75箇所） 一時預かり（一時保育） 2箇所（累計59箇所） 休日保育 3箇所（累計31箇所） 年末・年始保育 3箇所（累計49箇所） 病児保育（病児・病後児対応型） 2箇所（累計6箇所） 病児保育（体調不良児対応型） 5箇所（累計41箇所）

事業名	平成28年度末現況	事業の概要（29～33年度）
	病児保育（お迎え型） 1箇所	病児保育（お迎え型） 1箇所（累計2箇所）
子育て支援センターの整備	12箇所	2箇所（累計14箇所）
親子サークルの充実	保育所・認定こども園での親子サークルの実施 57箇所	保育所・認定こども園での親子サークルの実施 5箇所（累計62箇所）
放課後児童健全育成事業	38箇所	7箇所（累計45箇所）
地域児童健全育成事業	60箇所	事業の継続実施
児童館の整備	改築1箇所	耐震補強1箇所
ひとり親家庭奨学資金給付事業	奨学資金の給付10名（予定）	事業の継続実施
すこやか子育て支援事業	パパママセミナー、赤ちゃん教室、仲間づくりの赤ちゃん教室、乳幼児健康相談、こんには赤ちゃん事業、新米パパママ離乳食セミナー	事業の継続実施
認知症高齢者見守り支援事業 認知症総合支援事業	認知症高齢者見守り支援事業 ・地域への啓発活動 ・見守りネットワーク強化 ・徘徊SOSネットワークの整備 ・認知症になっても暮らせるまちづくり事業 認知症総合支援事業 ・認知症初期集中支援推進事業 ・認知症地域支援・ケア向上事業	事業の継続実施
地域密着型サービス等拠点整備事業	小規模多機能型居宅介護事業所 26箇所 認知症高齢者グループホーム 40箇所 認知症対応型通所介護事業所 23箇所 夜間対応型訪問介護事業所 3箇所 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 3箇所 看護小規模多機能型居宅介護事業所 1箇所 地域密着型特別養護老人ホーム 13箇所 (27年度末)	地域バランス等に配慮しながら整備を実施
地域優良賃貸住宅供給促進事業	地域優良賃貸住宅の戸数159戸	100戸増（累計259戸） 家賃減額補助の実施
障害者就労支援促進事業	—	コーディネータによる施設巡回 障害者就労支援の実施
障害者グループホームの整備	定員380名（28年度）	利用見込み量に応じた定員の増
在宅医療・介護連携推進事業	—	医療・介護連携相談支援 多職種連携研修 地域住民への普及啓発 かかりつけ医サポート 医療介護連携推進会議の実施 地域資源オープンデータ化
市民病院手術部門等整備事業	—	手術部門の増改築
市民病院医療情報システム等整備事業	—	パッケージ型新電子カルテシステム等の運用

まちづくりの目標Ⅱ		安心・安全で持続性のある魅力的なまち【都市・環境】
事業名	平成28年度末現況	事業の概要（29～33年度）
政策1 人にやさしい安心・安全なまちづくり		
漁港海岸保全施設整備事業	離岸堤新設280m（24～28年度）	離岸堤整備（新設・改良）
木造住宅耐震改修支援事業	一戸建て木造住宅の耐震改修費用に対する補助 41件（24～28年度）	事業の継続実施
河川水路整備事業（基幹河川）	基幹河川整備延長721m（24～28年度）	基幹河川整備延長603m
河川水路整備事業（排水路）	排水路整備延長883m（24～28年度）	排水路整備延長1,171m
浸水対策事業（排水路）	水路整備延長3,696m（24～28年度）	水路整備延長6,177m
浸水対策事業（雨水流出抑制）	雨水流出抑制施設（調整池・学校グラウンド貯留） 3箇所 水田貯留の実施面積352ha	調整池5箇所 水田貯留の実施面積370ha
火防水路改良事業	整備延長1,123m（24～28年度）	整備延長1,046m
公共下水道（雨水）の整備による浸水対策	雨水幹線等の整備 2,780m 合流式下水道の改善 4,160m	雨水幹線等の整備 2,760m 合流式下水道の改善 6,630m
急傾斜地崩壊対策事業	施工地区13地区（24～28年度） 法面施工延長291m（24～28年度） 安全な住宅戸数15戸（24～28年度）	急傾斜地崩壊対策（調査設計・工事）6地区 土砂災害対策補助15件
防災行政無線事業	防災行政無線（移動系）の整備 移動局289局 防災行政無線（同報系）の整備 屋外拡声子局74局 防災行政無線の維持管理 非常用バッテリー等	事業の継続実施
防災拠点機能充実強化事業	災害用備蓄物資整備（水、ビスケット、毛布等） 避難施設誘導標識整備（避難場所104箇所）	災害用備蓄物資整備（水、ビスケット、毛布、簡易トイレ等）
無電柱化事業	整備延長83m（24～28年度）	整備延長1,210m
自主防災組織育成事業	自主防災組織の活動費及び資機材等の購入費に対する補助	事業の継続実施
ライフライン共通プラットフォーム構築事業	—	共通プラットフォームの利用拡大 共通プラットフォームデータの一部オープンデータ化 共同工事実証実験
橋りょう維持補修事業（橋りょう保全対策事業）	—	補修及び更新工事【八田橋ほか】 定期点検及び診断【440橋／年（重要橋梁40橋・小規模橋梁400橋）】など
信頼性の高い配水システムの構築	配水幹線の整備 新設5,610m 更新8,910m 老朽水道管の整備 更新57,000m	配水幹線の整備 新設1,370m 更新18,730m 防災拠点機能の整備 更新23,320m
レジリエンス戦略推進事業	—	レジリエンス戦略のフォローアップ レジリエンスの推進及び周知・啓発事業の実施 など
消雪対策事業	消雪装置設置延長（市管理及び町内管理） 644.7km	消雪装置設置延長 45kmの増（累計689.7km）
常備消防拠点整備事業	—	移転建設1施設 改築1施設
消防分団器具置場改築事業	—	建設工事10箇所
救急救命士の養成	救急救命士77人	救急救命士3人の増（累計80人）
災害対応用資機材等の整備事業	—	高度救助用器具、資機材搬送車等の整備
サンライト事業	—	新設 1,250灯 更新 5,000灯

事業名	平成28年度末現況	事業の概要（29～33年度）
交通安全施設整備事業	道路反射鏡256基 防護柵2,836m (24～28年度)	道路反射鏡150基 防護柵1,250m
子ども及び高齢者交通安全対策事業	交通安全教室の開催 高齢者運転免許自主返納支援事業の実施	事業の継続実施
自転車利用環境整備事業	自転車走行空間整備	事業の継続実施
歩行者空間整備事業	整備延長1,127m（24～28年度）	整備延長983m
歩道のリフレッシュ事業	歩道補修延長2.7km (24～28年度)	歩道補修延長3.25km
公共下水道（汚水）の改築	汚水管渠の整備 富山地域外 118ha 汚水管渠の改築 調査計画210km 工事等9km 処理場設備の増設 浜黒崎浄化センター エアレーションタンク脱臭設備外 処理場設備の更新 浜黒崎浄化センター 水処理施設外	汚水管渠の改築 調査計画 240km 工事等 26km 処理場設備の更新 浜黒崎浄化センター 水処理施設外 ポンプ場設備の更新 岩瀬ポンプ場 揚水施設外
斎場の環境整備	—	PFI手法による施設整備等のあり方の検討
卸売市場施設整備事業	冷蔵庫棟整備 旧冷蔵庫棟解体、駐車場等整備 耐震改修等の整備手法検討調査	施設整備のあり方の検討
政策2 コンパクトなまちづくり		
富山駅周辺地区土地区画整理事業	富山駅南口駅前広場の完成 西口交通広場（新幹線高架部） 高架下駐輪場（新幹線高架部）	駅前広場の整備
富山駅周辺の南北一体的なまちづくり事業の促進	富山駅付近連続立体交差事業 あいの風とやま鉄道上り線 JR高山本線の本体工事 南北自由通路及び東西自由通路の一部	路面電車南北接続の完成
まちなか再生推進事業 (桜町一丁目4番地区市街地再開発事業)	28年3月施設建築物工事着工	29年度完成予定
まちなか再生推進事業 (総曲輪三丁目地区市街地再開発事業)	28年3月施設建築物工事着工	30年度完成予定
城址公園整備事業	お濠のゾーン、芝生広場ゾーン、歴史文化ゾーンの整備	松川周辺エリアの整備
おでかけ定期券事業	<利用者数> 101.1万人（27年度）	事業の継続実施
新規出店サポート事業	新規出店10店舗（28年度予定）	事業の継続実施 新規出店数50店舗
花でつなぐフラワーリング事業	292箇所設置	事業の継続実施
無電柱化事業（再掲Ⅱ-1-(1)）	整備延長83m（24～28年度）	整備延長1,210m
街区公園再整備事業	施設整備7公園	施設整備5公園
都市マスタープラン改訂事業	—	都市マスタープランの改訂
コンパクトなまちづくり推進事業	—	コンパクトなまちづくりに伴う都市的指標調査 コンパクトシティ政策国内外発信・連携
公共交通沿線居住推進事業	住宅取得補助490戸 共同住宅建設補助717戸 (27年度末)	住宅取得補助450戸の増 共同住宅建設補助450戸の増 宅地整備補助250区画の増
まちなか居住推進事業	補助対象戸数684戸 (27年度末)	住宅取得補助250戸の増 共同住宅建設補助50戸の増 家賃補助400戸の増
拠点整備推進事業	アドバイザーの派遣 まちづくり計画策定費補助事業 駅周辺開発に係る事業支援制度検討	事業の継続実施

事業名	平成28年度末現況	事業の概要（29～33年度）
公共交通利用促進事業	情報誌・テレビ・ラジオ等による公共交通利用啓発、小学生を対象とした交通環境学習の実施等	事業の継続実施
鉄軌道活性化事業	高山本線、不二越・上滝線活性化事業など	事業の継続実施
幹線バス活性化事業	ノンステップバスの導入補助（10台） バス停上屋の整備補助（20箇所） バス停ルート案内図等整備（17箇所）	事業の継続実施
路面電車南北接続事業（第2期）	軌道施設の実施設計	富山港線の在来線高架下延伸工事完成（路面電車南北接続の完成） 低床車両購入
富山港線軌道複線化・新停留場設置事業	軌道複線化の工事施行認可 軌道複線化工事着手	軌道複線化工事完成 新停留場工事完成
生活交通サービス整備事業	生活バス路線維持補助事業、市営コミュニティバス等の運行、自主運行バスへの支援、地域自主運行サポート事業	事業の継続実施
政策3 潤いと安らぎのあるまちづくり		
まち並み修景等補助事業	八尾地区における伝統的家屋や一般建築物等の修景補助の実施 補助実績67件	事業の継続実施
景観まちづくり推進事業	景観まちづくり推進区域の指定1件 景観まちづくりの意識啓発	景観まちづくり推進区域の指定 夜間景観ライトアップ事業など
花でつなぐフラワーリング事業（再掲Ⅱ-2-(1)）	292箇所設置	事業の継続実施
無電柱化事業（再掲Ⅱ-1-(1)）	整備延長83m（24～28年度）	整備延長1,210m
屋外広告物適正化事業	違法広告物の簡易除却作業、廃棄	違法広告物の簡易除却作業 屋外広告物改善・撤去補助
幹線市道整備事業	整備延長6.8km（24～28年度）	整備延長4.5km
交通支障箇所改善事業	改善箇所15箇所	改善箇所21箇所
街路整備事業	整備延長6路線0.65km（24～28年度）	整備延長8路線0.7km
総合公園整備事業	総合公園の整備	施設整備2公園 用地取得2公園
地区公園整備事業	地区公園の整備	施設整備2公園 用地取得1公園
近隣公園整備事業	近隣公園の整備	施設整備3公園 用地取得2公園
街区公園再整備事業（再掲Ⅱ-2-(1)）	施設整備7公園	施設整備5公園
ファミリーパーク整備事業	施設整備（里山生態園など）	施設整備（どうぶつ探訪ゾーン、森といきもの体験ゾーン、つどいのゾーン）
公園施設長寿命化事業	—	市内各所公園やファミリーパーク内施設の遊具、施設等の保全管理
月岡団地建替事業	第1期街区（80戸）の建替完了 第2期街区（44戸）の工事着工	第2期街区の建替完了（44戸） 第3期街区の建替完了（40戸） 第4期街区の建替完了（32戸）
水と緑の森づくり事業	水と緑の森づくり事業の整備面積194ha（24～28年度末予定）	森林整備面積 35ha/年
森林環境保全整備事業	森林環境保全整備事業の整備面積415ha（24～28年度末予定）	森林整備面積 60ha/年
森のちから再生事業	里山再生事業の推進	事業の継続実施
鳥獣対策事業（再掲Ⅲ-1-(4)）	鳥獣被害対策実施隊の運営 イノシシ等捕獲報奨金 カラス防除用ワイヤー設置支援等	事業の継続実施
とやま棚田保全事業	とやま棚田保全事業交付金 都市住民連携20組織 水田夏期湛水3.6ha	事業の継続実施
森林公園等整備事業	森林公園 施設整備	事業の継続実施

事業名	平成28年度末現況	事業の概要（29～33年度）
政策4 自然にやさしいまちづくり		
ごみ減量化・資源化推進事業	資源物ステーション運営事業 古布リユース・リサイクル事業 小型家電リサイクル事業 生ごみリサイクル事業	事業の継続実施
エコタウン推進事業	エコタウン学園の実施等	事業の継続実施
太陽光発電システム導入補助事業	設置補助の実施	事業の継続実施
省エネ設備等導入補助事業	設備等導入補助の実施	事業の継続実施
代替エネルギー用材等活用促進事業	代替エネルギー用材搬出促進補助	事業の継続実施
小水力発電普及促進事業	市内全域を対象に、可能性調査を実施 4地区について概略設計 3地区の事業支援を実施	施設整備補助事業の実施
住宅用省エネ設備等導入補助事業	設備等導入補助の実施	事業の継続実施
電気自動車充電設備設置補助事業	充電設備設置補助の実施	事業の継続実施
水素ステーション整備補助事業	—	導入補助事業の実施
チームとやまし推進事業	地球温暖化防止活動にかかる啓発事業の実施 緑のカーテン事業 コアメンバー意見交換会	事業の継続実施
公共交通利用促進事業（再掲Ⅱ-2-(5)）	情報誌・テレビ・ラジオ等による公共交通利用啓発、小学生を対象とした交通環境学習の実施等	事業の継続実施
3R推進スクール事業 ごみ減量普及啓発事業	3R推進スクール事業 幼稚園及び保育所28校、小学校38校で実施 ごみ減量普及啓発事業 副読本を4,200冊作成、小学校66校に配布	事業の継続実施

まちづくりの目標Ⅲ 人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】		
事業名	平成28年度末現況	事業の概要（29～33年度）
政策1 新たな価値を創出する産業づくり		
商業振興活性化プラン策定事業	現プランに基づく商業者への支援	プラン策定
工業振興ビジョン策定事業	現行ビジョンの第二次改訂（26年度）	ビジョン策定
企業団地造成事業	企業団地等の造成	新たな企業団地の造成
富山とれたてネットワーク事業	地場もん屋総本店の運営	事業の継続実施
6次産業化ステップアップ支援事業	農業者と商工業者とのマッチングによる新たな商品開発と普及啓発	事業の継続実施
担い手総合支援事業 （農地集積・集約化支援）	機構集積協力金や「目指せ担い手」農地集積促進事業による農地集積・集約化支援	事業の継続実施
集落営農等促進対策事業	集落営農組織の育成・強化及び生産調整に対応するための農業用機械等の導入支援	事業の継続実施
薬用植物振興対策事業	新規作付け・継続作付けに対する支援 農業用機械の導入支援	事業の継続実施
地域材活用促進事業	地域材使用住宅への支援	事業の継続実施
代替エネルギー用材等活用促進事業 （再掲Ⅱ-4-(2)）	代替エネルギー用材搬出促進補助	事業の継続実施
鳥獣対策事業	鳥獣被害対策実施隊の運営、イノシシ等捕獲報奨金、カラス防除用ワイヤー設置支援等	事業の継続実施
とやま経営実践塾	経営者コース、マネジメントコースの実施	事業の継続実施
担い手総合支援事業 （組織化・法人化等支援）	集落営農組織や農業法人の設立及び新たに農業参入する企業等の支援	事業の継続実施
楽農学園事業	とやま楽農学園での研修講座、実務研修、農業サポーターの活動支援	事業の継続実施
政策2 観光・交流のまちづくり		
観光実践プラン策定事業	富山市観光戦略プラン（29～33年度）の策定	次期プランの策定
観光サポーター研修事業	観光サポーター研修の実施 観光ボランティア研修・協議会運営	事業の継続実施
富山やくぜん普及推進事業	「富山やくぜん」認定店PRガイドマップの作成、ホームページの拡充等	「富山やくぜん」研修会の開催 「富山やくぜん」PR冊子の作成 SNS等を利用したPR
商品力向上支援事業	商品力向上セミナーの開催、新商品開発支援、商品PR・販売戦略支援、販路拡大支援	事業の継続実施
富山ブランド市開催事業	富山ブランド市（物産展）の開催	事業の継続実施
政策3 いきいきと働けるまちづくり		
若年者就職支援事業	学生と市内企業との面談の場の提供、企業情報ホームページによる市内企業の情報発信	事業の継続実施
マルチハビテーション推進事業	マルチハビテーション推進補助7件（予定）	マルチハビテーション推進補助10件の増
政策4 歴史・文化・芸術のまちづくり		
文化遺産等保全活用推進事業	浮田家住宅保存修理事業	旧馬場家住宅保存活用整備事業
ガラスの街づくり事業	ガラス美術館整備、新ガラス工房建設	ガラス美術館運営（作品収集保存、調査研究、展覧会開催、教育普及、国際公募展開催等）、富山ガラス工房の運営
富山デザインフェア開催事業	富山デザインフェアの開催（毎年）	事業の継続実施
市民文化振興事業	（公財）富山市民文化事業団へ委託	事業の継続実施
富山市美術展の開催	富山市美術展の開催	30年度より、富山市美術展に旧神通峡美術展で開催されていたインスタレーション部門を追加（3年毎）して開催

まちづくりの目標Ⅳ 共生社会を実現し誇りを大切に作る協働のまち【協働・連携】		
事業名	平成28年度末現況	事業の概要（29～33年度）
政策1 市民協働による共生社会づくり		
公募提案型協働事業	公募提案による43の協働事業を実施	事業の継続実施
拠点整備推進事業 (再掲Ⅱ-2-(4))	アドバイザーの派遣 まちづくり計画策定費補助事業 駅周辺開発に係る事業支援制度検討	事業の継続実施
公園愛護会等支援事業	サポート隊による活動実施公園6公園	事業の継続実施
タウンミーティング開催事業	タウンミーティングの開催	事業の継続実施
男女共同参画社会推進事業	第2次富山市男女共同参画プラン（2017～2026）の策定	第2次富山市男女共同参画プランの推進
ひとり親家庭奨学資金給付事業 (再掲Ⅰ-3-(1))	奨学資金の給付10名（予定）	事業の継続実施
市立公民館の整備・充実（再掲Ⅰ-1-(4)）	4館整備（24～28年度）	7館整備
政策2 市民の誇りづくり		
富山やくぜん普及推進事業 (再掲Ⅲ-2-(2))	「富山やくぜん」認定店PRガイドマップの作成、ホームページの拡充等	「富山やくぜん」研修会の開催 「富山やくぜん」PR冊子の作成 SNS等を利用したPR
商品力向上支援事業 (再掲Ⅲ-2-(2))	商品力向上セミナーの開催、新商品開発支援、商品PR・販売戦略支援、販路拡大支援	事業の継続実施
選ばれるまちづくり事業 (シティプロモーション)	シティプロモーション全国広告事業 富山イメージアップ事業の推進	事業の継続実施
マルチハビテーション推進事業 (再掲Ⅲ-3-(3))	マルチハビテーション推進補助7件（予定）	マルチハビテーション推進補助10件の増
とやま森の四季彩フォト大賞展開催事業	とやま森の四季彩フォト大賞の開催	事業の継続実施
政策3 しなやかな行政体づくり		
公共施設マネジメント推進事業	—	第1次公共施設マネジメントアクションプランの策定
ライフライン共通プラットフォーム構築事業 (再掲Ⅱ-1-(1))	—	共通プラットフォームの利用拡大 共通プラットフォームデータの一部オープンデータ化 共同工事実証実験

資料編 目標とする指標一覧

まちづくりの目標Ⅰ すべての人が輝き安心して暮らせるまち【人材・暮らし】

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
不登校児童・生徒の割合	児童生徒総数に占める不登校（30日以上欠席）児童生徒数（1,000人当たり）	子どもたちが登校しやすい環境づくりを進め、過去10年間の富山市全体の状況で最も低い数値を目標に、不登校児童生徒の減少を目指す。	小学校 3.7 中学校19.2 (27年度)	小学校 3 中学校18
健康な児童・生徒の割合	すこやか検診における要医療・経過観察の判定を受けていない児童生徒の割合	子どもたちの健康管理を推進し、要医療・経過観察の判定を受けていない児童生徒の割合93%を目指す。	88.2% (28年度)	93%
学校給食における地場産野菜の品目数	学校給食における地場産野菜の使用品目数	食育の観点から、地場産野菜の使用拡大を目指す。	29品目 (27年度)	32品目
子どもかがやき教室実施箇所数	子どもかがやき教室の実施箇所総数	市ホームページでの事業の案内などにより、概ね年1箇所の実施地区増を目指す。	45箇所 (27年度)	50箇所
朝食をとる子どもの割合	朝食をとる児童・生徒の割合	家庭での健全な食習慣の確立を図り、富山県の目標数値を参考に割合の増を目指す。	小学生98.2% 中学生94.9% (28年度)	小学生100% 中学生 98%
公民館利用者数	利用状況報告書に基づく公民館利用者数	多様な生涯学習などの機会を提供し、年2,000人の利用者増を目指す。	697,300人 (27年度)	710,000人
博物館等の観覧者数	市立博物館等17施設の入館者数	展示内容等の充実を図り、毎年1.3%程度の観覧者数の増加を目指す。	745,464人 (26年度)	800,000人
TOYAMAキラリ公益施設の来館者数	TOYAMAキラリ公益施設の利用者数	基準数値は、平成28年11月までの実績による推計値とし、毎年2万人の増加を目指す。	650,000人 (28年度予定)	750,000人
スポーツ大会派遣激励費の支給対象者数	全国規模等のスポーツ大会に派遣する選手、監督及びコーチに対する激励費の支給人数	ジュニア特別強化事業等の実施により、毎年1%の増加を目指す。	1,174人 (27年度)	1,236人
成人のスポーツ実施率	成人における週1回以上のスポーツ実施者数の割合	ライフステージごとの具体的な事業を展開し、成人の週1回以上のスポーツ実施率が50%以上になることを目指す。	29.7% (28年度)	50%
スポーツ・レクリエーション施設年間利用者数	スポーツ・レクリエーション施設の年間利用延べ人数	スポーツ・学校体育施設の充実や東京オリンピック・パラリンピック開催を契機としたスポーツ人口の増加を目指す。	296万人 (27年度)	320万人
健康であると感じる市民の割合	健康づくりに関する市民意識調査において、「とても健康である」・「まあまあ健康である」と回答した市民（満20歳～79歳）の割合	健康づくり活動を推進し、これまでの実績を基に割合の増加を目指す。	81.1% (28年度)	86%
自殺死亡率	人口10万人当たりの自殺死亡者数	国の「自殺総合対策大綱」の目標に準じた数値を目指す。	23.3 (26年)	19.9
公共交通利用率（再掲Ⅱ-2-(5)）	公共交通利用者数の富山市人口当たりの割合	公共交通の利用促進により、富山市人口当たりの割合の向上を目指す。	14.9% (27年度)	15.5%
健康な高齢者の割合	65歳以上の高齢者で、介護保険の要介護・要支援認定を受けていない人の割合	多様な介護予防事業の展開により、高齢者人口が増える中であっても健康な高齢者数の割合の維持を目指す。	前期高齢者（65～74歳）95.9% 後期高齢者（75歳以上）65.6% (27年度)	前期高齢者96%以上維持 後期高齢者66%以上維持
保育所等の利用定員	市内の保育所等の利用定員	増加する保育ニーズに対応し、待機児童の発生を抑制するため、保育可能人数の500人程度の増加を目指す。	12,604人 (28年度)	13,100人
延長保育の実施率	市内全保育所等での延長保育を実施する割合	多様化する保育ニーズに対応するため、増加を目指す。	82.9% (28年度)	85.2%

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
一時保育の実施率	市内全保育所等での一時保育を実施する割合	多様化する保育ニーズに対応するため、増加を目指す。	64.8% (28年度)	67%
病児保育の実施率 (体調不良児対応型)	市内全保育所等での病児保育(体調不良児対応型)を実施する割合	多様化する保育ニーズに対応するため、増加を目指す。	40.9% (28年度)	46.6%
休日保育の実施率	市内全保育所等での休日保育を実施する割合	公立保育所の民営化などにより休日保育を実施する施設の増加を目指す。	31.8% (28年度)	35.2%
子育て支援センターの利用者数	子育て支援センターを利用する延べ人数	利用者の利便性向上を図るため未設置区域への設置により、利用者増を目指す。	135,793人 (27年度)	137,634人
放課後児童健全育成事業の年間利用者人数	放課後児童健全育成事業を利用する年間延べ人数	子どもたちの健全な育成を図るため、利用施設を整備することにより利用者数の増加を目指す。	190,658人 (27年度)	255,000人
地域児童健全育成事業の年間利用者人数	地域児童健全育成事業を利用する年間延べ人数	子どもたちの健全な育成を図るため現在の利用者数維持を目指す。	450,823人 (27年度)	450,000人
セミナー参加企業数	子どもを産み育てることを考えるセミナー(企業育成)に参加し、企業独自の取組を検討していくと回答した企業の数	毎年度2企業の増を目指す。	19の企業 (28年度)	24の企業
すこやか子育て支援事業の参加者数	保健福祉センターの事業、地域での子育て支援事業への参加者の年間延べ人数	安心して子育てができる環境づくりのため、参加者数の増加を目指す。	13,200人 (28年度)	13,500人
事業所内保育施設の市内設置件数 (再掲Ⅲ-3-(2))	富山市内に設置されている事業所内保育施設の件数	補助制度の活用等により、累計25件の設置を目指す。	19件 (27年度)	25件
要支援・要介護認定者に占める地域密着型サービス利用者の割合	要支援・要介護認定を受けた方(介護サービス利用者)に占める地域密着型サービス利用者の割合	将来の要支援・要介護認定者数の推計を基に、高齢者の多くが希望する在宅での生活を支えるため、地域密着型サービス拠点の整備により利用割合の増加を目指す。	7.8% (27年度)	15.6%
地域優良賃貸住宅供給戸数	地域優良賃貸住宅整備費補助金を受けて整備された住宅の供給戸数	高齢化の進行に伴い、高齢者が安心して暮らせる住宅の需要が見込まれることから、供給戸数の増加を目指す。(年間20戸)	159戸 (28年度)	259戸
福祉施設から一般就労への移行者数	福祉施設から一般就労へ移行した者の数	就労支援事業等(生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援)を通じて、一般就労への移行を目指す。	24人/年 (24年度)	48人/年
入所施設からの地域生活移行者数	障害者入所施設での生活から自宅やグループホーム等、地域での生活へ移行した者の数	入所施設での生活から地域での生活への移行を希望する障害者に対し、生活の場としての選択肢を確保し、地域移行の実現を目指す。	187人 (18~26年度までの累計)	292人 (18~33年度までの累計)

まちづくりの目標Ⅱ		安心・安全で持続性のある魅力的なまち【都市・環境】		
指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
住宅の耐震化率	住宅総数（非木造・共同住宅等含む。）のうち、新耐震基準で建築されたものと耐震化工事を行ったものを合わせた割合	富山市耐震改修促進計画に基づき、住宅の耐震化率85%を目指す。	79.4% (27年度)	85%
配水幹線の耐震化率	配水幹線延長に占める耐震管延長の割合	平成38年度末までに、全ての配水幹線のうち富山地域の配水幹線について耐震化を完了することを目指す。（平成38年度末の配水幹線耐震化率：92.6%）	42% (28年度予定)	67.5%
大雨に対して安全である区域の面積の割合	都市浸水対策を実施すべき区域のうち、5年に1回程度発生する規模の降雨に対応する下水道整備が完了した面積の割合	平成33年度末までに整備する区域の面積が100haとなることを目指す。	75% (28年度予定)	77%
浸水被害発生件数	大雨に対する各年度の被害発生件数	被害の多かった年度の被害発生件数以下を目指す。	1,240件 (10年度)	1,240件以下
がけ地崩壊危険区域内の住宅戸数	がけ崩れに対して安全性を有していない住宅戸数	対策工事や補助の実施により、がけ崩れに対して安全性を有していない住宅戸数の減少を目指す。	500戸 (28年度)	481戸以下
自主防災組織の組織率	全世帯に占める自主防災組織加入世帯の割合	実績等に基づき、より一層防災意識の啓発に努め、概ね7割の組織率を目指す。	56.7% (27年度)	70%
防災行政無線の整備率	デジタル防災行政無線（同報系・移動系）の整備の割合	総務省により定められた期限（平成34年11月30日）までに、適合規格を満たすデジタル式に更新することを目指す。	同報系32.2% 移動系91.2% (27年度)	同報系100% 移動系100%
備蓄物資の整備率	備蓄目標数に対する実際の備蓄割合	段階的に備蓄数を増加させ、備蓄食料の賞味期限が一巡する平成33年度までに目標数の到達を目指す。	35.7% (27年度)	100%
市民の雪対策における満足度	雪に強いまちづくりの施策に対する市民の満足度	富山市民意識調査「雪に強いまちづくり」の項目について、市民満足度の増加を目指す。	27.5% (27年度)	30.5%
消防庁舎の耐震化率	全消防庁舎に占める耐震対策済みの消防庁舎の割合	消防庁舎17箇所のうち、旧耐震基準で建設された消防庁舎5箇所についての耐震化を目指す。	70% 12箇所 (28年度)	82% 14箇所
救急救命士の養成率	救急現場で活動する救急救命士の養成率	退職者等の減員補充を考慮し、救急救命士の確保を目指す。	96% 77人 (28年度)	100% 80人
年間出火率	人口1万人当たりの年間出火件数	火災予防広報活動等を行い、現状の年間出火率の維持を目指す。	2.0件／万人 (17～27年の平均)	2.0件／万人
一般市民による救命処置の実施率	心臓停止傷病者に対する救命処置の実施率	救命講習会の受講者数を拡大し、一般市民による救命処置の実施率の向上を目指す。	55% (27年)	65%
救急隊の現場到着所要時間	119番通報から救急隊が現場に到着するまでに要した総出動件数の平均時間	救急出動件数の増加に伴い、現場到着所要時間が延伸していることから、救命講習会等で救急車の適正利用を啓発し、現場到着所要時間の維持を目指す。	7分13秒 (27年の現場到着所要時間)	7分13秒
市内の犯罪認知件数	年間の犯罪認知件数	犯罪認知件数の減少に向け、さらなる防犯意識の啓発などにより、27年犯罪認知件数（3,059件）の5%減を目指す。	3,059件 (27年)	2,900件
無施錠被害率	自動車・オートバイ・自転車盗、車上ねらい、住宅対象侵入盗の犯罪認知件数のうち、無施錠が原因となった犯罪被害件数の割合	無施錠被害率は全国平均（51.5%）を上回る状況にあるため、一層の減少を目指す。	52.8% (27年)	48.6%
市内の交通事故件数	年間の交通事故件数	平成以降の最少交通事故件数以下を目指す。	1,843件 (27年)	1,843件以下
消費生活相談解決率	相談総数のうち、助言等により解決した割合	相談内容が複雑・多様化する中、現在の高い相談解決率の維持を目指す。	99% (27年度)	99% (現状維持)

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
青果部・水産物部取扱金額	地方卸売市場で取り扱う青果物・水産物の年間金額	市場機能を強化することにより、現状維持を目指す。	25,834百万円 (27年度)	26,000百万円
老朽管対策を実施したコンクリート管の割合	全コンクリート管において、管内調査により「健全と判断された延長」及び「改築を実施した延長」の割合	劣化状況を把握するためのカメラ調査を年50km実施し、改築を年5km実施することを目指す。	38.5% (28年度予定)	86.4%
富山駅周辺地区の歩行者数	富山市、富山商工会議所により実施される歩行者通行量調査における歩行者数	27年度基準数値は、新幹線開業に伴う富山駅利用者増という特殊事情があることから、開業前の26年度基準数値を踏まえ、歩行者数の維持・向上を目指す。	平日42,037人 日曜37,173人 (27年度) 平日38,924人 日曜30,420人 (26年度)	平日40,000人 日曜32,000人
中心商業地区及び富山駅周辺地区の歩行者通行量	中心市街地（中心商業地区、富山駅周辺地区）の歩行者数	富山市中心市街地活性化基本計画に掲げる目標数値の達成を目指す。	日曜44,374人 (27年度)	日曜46,000人
総人口に占める公共交通が便利な地域に居住する人口の割合	住民基本台帳における総人口に占める公共交通が便利な地域*の人口割合。 ※公共交通沿線居住推進地区のうち「JR高山本線」の沿線を除いた区域	都市マスタープランに基づき、公共交通が便利な地域に住む市民の割合の増加を目指す。	37% (28年度)	40%
公共交通利用率	公共交通利用者数の富山市人口当たりの割合	公共交通の利用促進により、富山市人口当たりの割合の向上を目指す。	14.9% (27年度)	15.5%
路面電車1日平均乗車人数	市内電車と富山ライトレールの1日当たり平均乗車人数	富山市中心市街地活性化基本計画に掲げる目標数値の達成を目指す。	19,193人/日 (27年度)	20,000人/日
伝統的家屋、一般建築物等の修景事業の件数	八尾地区景観まちづくり推進区域において実施された修景工事の件数	事業全体を通して、補助対象区域内の家屋等のうち10%程度の修景工事の実施を目指す。	67件 (28年度)	12件 (累計79件)
景観まちづくり推進区域の指定件数	富山市景観まちづくり条例に基づく、景観まちづくり推進区域に指定された件数	住民等の意識啓発、合意形成を図りながら、新たに3地区の指定を目指す。	2件 (28年度)	3件 (累計5件)
是正指導による適正化件数	是正指導により、適正化された屋外広告物の件数	中心市街地の主要幹線道路沿いにおける屋外広告物の適正化率80%を目指す。	76件 (27年度)	150件 (累計226件)
市民の「都市部や地域の骨格を形成する道路網の整備」における満足度	市民意識調査において「都市部や地域の骨格を形成する道路網の整備」の施策に対して、「満足」、「ほぼ満足」と回答した市民の割合	毎年前年比0.1ポイントの増加を目指す。	15.6% (27年度)	16.2%
入居需要に対する市営住宅供給率	住宅困窮者等の入居需要数に対する市営住宅提供可能数の割合	住宅に困窮し、かつ市営住宅を必要としている者に対して、安定した住宅提供を行うため、入居需要数に対する市営住宅提供可能数の100%維持を目指す。	100% (28年度)	100% (現状維持)
森林ボランティア団体数	とやま森づくりサポートセンターへの登録数	市民・企業によるボランティア団体の増加を目指す。	56団体 (27年度)	66団体
集落協定締結面積	中山間地域等直接支払交付金の交付対象面積	年々減少傾向にある中山間地域の農地について、現状の維持を目指す。	1,202.5ha (28年度)	1,202.5ha (現状維持)
産業廃棄物減量化・循環利用率	産業廃棄物発生量に占める中間処理等により減量化された量の割合	廃棄物の循環的利用、適正処理を推進し、富山県の「とやま廃棄物プラン」で定める数値を目指す。	95.9% (26年度)	97%
市民1人1日当たりの一般廃棄物排出量	ごみ総排出量から求めた市民1人1日当たりの一般廃棄物排出量（事業系廃棄物は含まない。）	市民1人1日当たり30gの減量を目指す。	734g (27年度)	704g
一般廃棄物の再生利用率	ごみの総排出量に占める再生利用が可能な資源物の割合	可燃ごみ・不燃ごみに含まれる資源物の分別を徹底し、割合の増加を目指す。	24% (27年度)	25%

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
温室効果ガス排出量の削減割合	平成17年度を基準とした温室効果ガス排出量の削減割合	環境モデル都市行動計画に位置付けた温室効果ガス排出量の中期削減目標達成を目指す。	— (17年度)	30%削減 (2030年)
バイオマス発電施設等への間伐材搬入量	市内産材がバイオマス発電施設等に搬入された量	間伐材チップ・ペレットとしての有効活用に努め、2割の搬入量の増加を目指す。	8,100m ³ (27年度)	9,700m ³
年間発電可能量 (発電箇所数)	小水力発電所が年間に発電する電力量と箇所数	小水力発電を予定している地区の電力量と箇所数の増加を目指す。	220万kWh 1箇所 (28年)	828万kWh 4箇所
3R推進スクール実施率	小学校、幼稚園、保育所等における3R推進スクールの実施割合	幼少期・少年期からごみに対する関心を高めるため、実施率35%以上を目指す。	31% (27年度)	35%
チームとやましメンバー数	地球温暖化防止活動に取り組む人数	各種啓発事業によりメンバー数の増を目指す。	21,545人 (28年度)	22,045人
エコタウン交流推進センター利用者数	エコタウン交流推進センターの利用者数	環境学習の機会の充実を図り、25%の増加を目指す。	8,106人 (27年度)	10,000人

まちづくりの目標Ⅲ		人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】		
指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
中心商業地区及び富山駅周辺地区の歩行者通行量(再掲Ⅱ-2-(1))	中心市街地(中心商業地区、富山駅周辺地区)の歩行者数	富山市中心市街地活性化基本計画に掲げる目標数値の達成を目指す。	日曜44,374人(27年度)	日曜46,000人
製造品出荷額等	工業統計における従業者4人以上の事業所の年間製造品出荷額等	産業の振興を図り、年平均2.2%程度の増を目指す。	11,662億円(26年)	13,488億円
事業所の新規開業率	経済センサスにおける新規開業率(全産業)	新規開設の事業所数増により新規開業率の増加を目指す。	5.9%(26年度)	7%
新規事業所開設による雇用者数	経済センサスにおける新設事業所の年平均就業者数(全産業)	新規事業所の開設を推進し、20%の増加を目指す。	14,195人(24~26年の平均)	17,000人
企業団地の入居率	市が新たに造成する企業団地の入居率	新たに造成を予定する企業団地の入居率100%を目指す。	—	100%
創業支援施設卒業企業数	創業者支援施設3箇所の卒業企業数(施設の退去時点において事業を継続する者)	入居企業への支援を強化することにより、独立開業数の増加を目指す。	6社(25~27年度平均)	5社
農林産物直売所の販売額	直売所の設置・販売状況調査による販売額	年1%程度の増加を目指す。	1,022百万円(27年度)	1,073百万円
認定農業者等の担い手が占める経営面積比率	市内の水田面積に占める認定農業者等担い手の経営面積の割合	富山市担い手育成総合支援協議会事業計画及び富山市農業再生協議会水田農業ビジョンの育成目標に基づき、割合の増加を目指す。	42.3%(27年度)	70%
薬用作物・健康作物の栽培面積	薬用作物・健康作物の栽培面積	薬用作物：27年度から6.1haの増加を目指す。 健康作物：エゴマは35ha、その他で1.6haの作付けを目指す。	薬用作物の栽培面積 2.9ha 健康作物の栽培面積 8.8ha(27年度)	薬用作物の栽培面積 9.0ha 健康作物の栽培面積 36.6ha
地域材生産量	市内産材から住宅建材やチップ・ペレット等が生産された量	地域材の活用促進に努め、15%の生産量の増加を目指す。	14,000m ³ (27年度)	16,000m ³
有害鳥獣による農作物被害額	有害鳥獣による農作物被害額	被害防止対策を推進し、被害額の低減を目指す。	6,821万円(27年)	5,500万円
認定農業者である農業法人経営体数	認定農業者のうち農業を営む法人の経営体数	経営基盤の安定した経営体の育成に努め、20経営体の増加を目指す。	81経営体(27年度)	101経営体
農業サポーター登録者数	とやま楽農学園の受講者のうち、農業者のサポーターとして従事を希望する者の延べ人数	人材育成の結果として活躍できる農業サポーターの人数800人を目指す。	621人(27年度)	800人
富山県観光客入込数調査による宿泊者数	市内におけるホテル・旅館の延べ宿泊者数	基準数値の10%増を目指す。	1,461,772人(27年)	1,608,000人
観光サポーター研修受講者数	観光サポーター研修の累計受講者数(延べ人数)	基準数値(5年間累計)の10%増を目指す。	474人(23~27年)	520人(29~33年)
「富山やくぜん」認定更新研修会の受講認定事業者数	更新研修を受講した認定事業者数	更新制により水準を向上させ、5年間の累計で120事業者を目指す。	23事業者(28年度)	120事業者(29~33年)
「食やくシリーズ」などの販売数	年間販売数	新幹線開業直後の販売数の維持・増加を目指す。	20,000個(27年度)	25,000個
コンベンション開催数及び参加者数	県外参加者が「100人以上で会期が2日以上」または「50人以上で会期が3日以上」のコンベンションの開催数及び参加者数	基準数値の10%増を目指す。	開催件数 82件 参加者数 55,333人(27年度)	開催件数 90件 参加者数 60,866人

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
県内高校出身の県外大学生のUターン就職率	県内高校の卒業生で県外に進学した大学生のうち、Uターン就職した大学生の割合	県等と連携を図りながら、60%以上を目指す。	58.1% (27年度)	60%
県内大学卒業生の県内就職率	県内の大学を卒業し、県内企業等に就職した者の割合	県等と連携を図りながら、50%以上を目指す。	44% (26年度)	50%
富山市無料職業紹介所を通じて就職した人数	無料職業紹介事業の実施により、就職した人数	就労相談や職業紹介等を実施することにより、各年度において、10件の増加を目指す。	50件 (28年度)	100件
市内事業所での障害者雇用率達成割合	法定障害者雇用率2.0%を達成した一般の民間企業の割合	法定障害者雇用率達成割合について55%を目指す。	50.8% (28年度)	55%
高齢者人材バンクのマッチング件数	高齢者人材バンクの利用により、就職した人数	金融機関等との連携により求人開拓に努めるとともに、富山市無料職業紹介所とも連携を図りながら年間20件の就職を目指す。	—	100件
事業所内保育施設の市内設置件数	富山市内に設置されている事業所内保育施設の数	補助制度の活用等により、累計25件の設置を目指す。	19件 (27年度)	25件
マルチハビテーション推進事業補助件数	マルチハビテーション推進事業の補助累計件数	補助制度を活用し、毎年2件の二地域居住者の受入を目指す。	7件 (28年度予定)	17件
TOYAMAキラリ公益施設の来館者数(再掲 I-1-(4))	TOYAMAキラリ公益施設の利用者数	基準数値は、平成28年11月までの実績による推計値とし、毎年2万人の増加を目指す。	650,000人 (28年度予定)	750,000人
富山ガラス工房入館者数	富山ガラス工房の入館者数	体験メニューの充実、ガラス美術館との連携等により、27年度から1%程度の増加を目指す。	108,300人 (27年度)	110,000人
(公社)日本グラフィックデザイナー協会主催の審査会での入賞者数	(公社)日本グラフィックデザイナー協会主催の作品選考会における入選者数	全国レベルのデザイナーを輩出し毎年1人ずつ入選者の増加を目指す。	3人 (28年度)	8人
主催公演の入場者率	富山市民文化事業団が主催する公演の入場可能座席数に占める入場者の割合	多様で質の高い芸術文化公演を提供し、70%台を維持する。	70% (28年度目標数値)	70%台の維持

まちづくりの目標Ⅳ		共生社会を実現し誇りを大切に作る協働のまち【協働・連携】		
指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
公募提案型協働事業 応募団体数	公募提案型協働事業の応募 団体数	これまでの応募団体数の推移に基づき、各 年度8団体の応募を目指す。	7.6団体 (24～28年度の 平均)	8団体
まちづくりのルール を策定した地区数	まちづくりのルール（地区 計画）を策定した地区数の 累計	地区のルール策定を推進し、これまでの実 績をもとに10%の増加を目指す。	31地区	34地区
附属機関における女 性委員登用率	法律または条例に基づき設 置される附属機関の構成員 のうち女性の占める割合	第2次富山市男女共同参画プランに基づき、 市政に参画する女性の増加を目指す。	26.7% (28年度)	30%
公民館利用者数 (再掲Ⅰ-1-(4))	利用状況報告書に基づく公 民館利用者数	多様な生涯学習等の機会を提供し、年 2,000人の利用者増を目指す。	697,300人 (27年度)	710,000人
「富山やくぜん」認 定更新研修会の受講 認定事業者数 (再掲Ⅲ-2-(2))	更新研修を受講した認定事 業者数	更新制により水準を向上させ、5年間の累 計で120事業者を目指す。	23事業者 (28年度)	120事業者 (29～33年)
「食やくシリーズ」 などの販売数 (再掲Ⅲ-2-(2))	年間販売数	新幹線開業直後の販売数の維持・増加を目 指す。	20,000個 (27年度)	25,000個
富山市発信情報の閲 覧・投稿者数	シティプロモーション推進 事業で、本市の魅力を発信 する映像等のホームページ やSNSでの閲覧・投稿件数	対前年度比5%増を目指す。	218,453件 (28年度)	278,806件
ワークショップ参加 者数	シビックプライド醸成事業 で実施するワークショップ への参加者数や写真投稿件 数	5年間の延べ累計人数で5,000人を目指す。	1,000人 (28年度)	5,000人

一人ひとりがきらめくまちへ。

AMAZING TOYAMA

第2次富山市総合計画 2017－2026 概要版

平成29年3月

編集・発行	富山市企画管理部企画調整課 〒930-8510 富山市新桜町7番38号 電話 (076)443-2010 http://www.city.toyama.toyama.jp/
装丁デザイン	アイアンオー株式会社
印刷・製本	とうざわ印刷工芸株式会社

この冊子の印刷インキは環境に配慮したベジタブルオイルインキ(植物油インキ)を使用しています。

